

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク

事務局挨拶



北陸地方整備局次長 鈴木 勝

北陸地方整備局の鈴木でございます。

今日はお忙しいところ、各所よりお集まりいただきまして、どうもありがとうございます。日本海にぎわい・交流海道ネットワークの事務局ということで、一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

この日本海にぎわい・交流海道ネットワークの会員の皆様におかれましては、この活動を毎年お支えいただきまして、大変ありがとうございます。また、本年は開催に当たり、この開催地であります輪島市を初め、石川県内の会員の皆様に大変お世話になりました。高い席からまずはお礼を申し上げたいと思います。

さて、日本海にぎわい・交流海道ネットワークでございますけれども、やはり相互に関係ある日本海の沿岸地域の皆様の連携を図りまして、対岸諸国との交流、あるいは物流、文化、観光及びレクリエーションに関する総合的な活動のネットワークを形成して、地域の国際化、国土の発展を図るということを目的にされた団体であります。もう少し今様に言いますと、やはり地域の発展の仕方というのはそれぞれでございます。皆さん知恵を出しておりますので、今どきの言葉で言うと、いわゆるベストプラクティスの共有といいますか、いろいろ情報ネットワークの構築という形で、新しいアイデア、新しい情報をそれぞれ共有し合おうというのが本会の目的ではないかというふうに思っております。

会員の皆様は、北は北海道の稚内、南は佐賀県唐津までということで、さまざまな地域の会員の皆様から構成されております。昨年度、稚内の総会では「ロシアと日本海沿岸の経済交流」ということで講演会を開催させていただきました。本年は、ここ輪島におきまして、来年度旅客船バースの供用も控えているということで、クルーズをテーマにした講演会をこの後計画させていただいてるところでございます。

こういった日本海におけるクルーズ、輪島だけでございませんで、いろんな日本海の各港を寄港し

ておりますけれども、こういったクルージングは国土交通省の港湾の基本計画でもそういったものの大切さというものが明記されているところでございます。

国土交通省といたしましても、物流だけではございませんで、こういった交流のためのハード整備、あるいはソフト的なサポート等々、積極的に活動してまいりたいと思っています。そのためには、本ネットワークの会員の皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本ネットワークの会員の皆様、ますますのご発展とご健勝をご祈念をしております。

本日はどうもありがとうございました。

ありがとうございました。